

令和6年度 第9回下呂市教育委員会会議録

1. 招 集 日 令和6年12月23日(月)
2. 会 場 星雲会館 西風の間
3. 開会・閉会 午後4時00分 ～ 午後4時55分
4. 出 席 者 教 育 長 中 村 好 一
委 員 河 尻 明 子
委 員 小 口 晃 生
委 員 細 江 洋一郎
委 員 三 木 朋 哉
委 員 竹 田 小 織
5. 欠 席 者 なし
6. 委員の他出席者 教育委員会事務局長 山 中 明 美
教育総務課長 細 江 実
学校教育課長 黒 木 和 実
文化財課長 松 井 智 之
学校給食センター所長 今 井 健 人
地域振興課長補佐 古 谷 卓 也
7. 付議案件
- 日程第1 会議録署名者の指名
- 日程第2 会期について
- 日程第3 前回会議録の承認について
- 日程第4 教育長報告及び事務局報告について
- 日程第5 議第19号 就学援助申請に係る審査について
- 日程第6 議第20号 下呂市育英資金給貸与に関する規則の一部を改正する規則について
- 日程第7 協議、報告事項
- ・各課業務報告
 - ・令和7年度タブレット端末の更新について
 - ・オオサンショウウオ交雑問題への取り組みについて

(開会に先立ち市民憲章の唱和)

教育長 これより、令和6年度第9回下呂市教育委員会を開会します。初めに日程第1、会議録署名者を指名します。本日、三木朋哉委員にお願いします。

教育長 日程2、会期について。会期は本日1日としてよろしいでしょうか。

(委員全員 異議なし)

それでは会期は本日1日といたします。

教育長 日程第3、前回会議の承認について、事務局より説明をお願いします。

(事務局長 会議録要旨を朗読)

教育長 ただ今の会議録にご異議がある方ありませんか。前回の会議について承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

教育長 それでは前回会議録について承認といたします。

教育長 日程第4、教育長報告及び事務局報告をいたします。

1. 12月定例議会の報告

11月29日から12月20日、第6回下呂市議会定例会が行われました。一般質問を5人の議員からいただき、私と事務局長で答弁しました。以下が答弁内容です。

【中島ゆき子議員】：子育て支援についての考え。令和7年度の新1年生は、無償のランドセルを希望しない場合は15,000円の補助があるが、令和8年度以降に補助がないのはなぜか。

保護者への支援として、大きく2種類の方法がある。すべての保護者に平等に助成するもの。もう一つは対象を限定し支援するもの。今回の場合は、全ての新入学児童を対象とするが、保護者からの申請により必要とされる方を限定し支援するとした制度である。

7年度新入生には、周知の前に既に購入済みで選択の機会がなかった方もおり、公平性が保たれないとの判断から、今年度に限り特例的に支給品と同額程度を支給する。令和8年度以降の新入生については、早期に十分な周知を行い、ランドセルの無償配布希望について選択機会を全員に提供させていただく。

【田中喜登議員】：ウェルビーイングを学校教育の中でどう育てていくか。

学校教育の中では、子ども一人一人の自己肯定感を高めることが大切。下呂市の教育の目指す4つの柱の一つ「一人一人が輝ける学校生活と家庭生活を育む教育」において、学校生活の中の授業や行事、部活動などで達成感を味わえるよう努力している。放課後や休日の生活においても、時間の有効活用を考え、挑戦心を促し達成感を味わえるよう取り組んでいる。また、特別支援学級の子や不登校の子も含め全ての子に存在感を感じられる教育を行っている。

さらに、社会の中の一員として、他との心地よい関係づくり、協働の力を育むことも大切。4つの柱の一つ「地域と力を合わせて創る下呂学（ふるさと教育）の推進」は、最終的には地域への貢献までを考えた総合的な学習の時間を核とした教育。すでにボランティア活動などの姿が多く見られており、子どもがウェルビーイングの思いを感じている。地域の方においても同じような思いを感じており、子どもを真ん中においた取組は、下呂市のウェルビーイングにつながる方法だと考える。

【尾里集務議員】：将来の小中学校の在り方について、市が行ったアンケート結果を踏まえての考えと中学校の部活動の地域移行についての考えは。

調査の趣旨は、小中学校の児童生徒数や学級数の減少に伴い、今後の学校の在り方について保護者や中学生に思いや考えを聞き、今後の教育行政や学校経営に生かしていくもの。

今後の学校はどのような学校であればいいかの問いの回答は「仲間と関わりながらいろいろな考えを話し合える学校、人間関係を作っていける学校」「互いに仲良くできる学校」が多かった。保護者はそれに加え「一人一人が細やかに丁寧に見てもらえる学校」も多く、生徒は「運動会や合唱・文化祭などの行事で多くの仲間と協力したり競い合ったりできる学校」の回答も多かった。該当校にそれぞれの結果を知らせ、その対応について検討し、次年度の学校経営構想に組み込んでもらう。

また、将来的な統合を含めた学校再編の考えを持つ人がかなりの人数でいることがわかった。この結果も各学校からPTAに報告し、話し合うきっかけにして

いただく。

将来的な統合を含めた学校再編を考える必要がある場合は、検討をする場を設けることになる。依頼があつたら教育委員会も出向き、質問に答えたり、課題を明確にしたりしていく。今後の学校の在り方についての教育委員会のスタンスは、保護者や地域の思いを大切に考えていくことは変わらない。

下呂市の部活動の地域展開の方法は、少子化の中でも生徒にとって有益であり、持続可能な在り方。今後の学校の在り方を考えるうえでも、この地域展開を更に推進していく。

【下平裕次郎議員】：ふるさと給食では子どもたちにどのように説明をして食育へとつなげているか。食材を確保するために課題はあるか。米をすべて下呂市産へ変更するには基準があるか

毎月学校に配布する献立表には、下呂市産の米や食材の説明や地産地消の取り組みなどを記載している。給食前の校内放送でも、栄養や健康に関する豆知識などの他に食材の産地も紹介している。また、各学校を月1回程度栄養教諭が訪問して食に関する指導の中、地産地消の説明を行うなど、地域の特産物に愛着と誇りを感じてもらおうよう心掛けている。

毎日確実に学校に約2,400食の給食を提供するためには、一定の品質を保った食材の安定した供給が課題となっているが、食材の調達に苦慮することはない。給食の米の購入に関する明確な基準はない。米については、岐阜県学校給食会へ発注しており、すべて飛騨地方産のコシヒカリで、下呂産米は約34%。学校給食会は岐阜県内の学校給食用物資の安全確保と安定供給・食育支援等を主な事業としており、学校給食会からの購入が現在のところ最善策である。学校給食会から購入した米とは別に、下呂市内の生産者様（3者）のご厚意で合計1,582.5kgの米の寄附をいただいている。ちなみに、学校給食の食材費総額のうち36.6%を下呂市内の業者から、岐阜県学校給食会で36.2%、残り27.2%について市外の業者。学校給食会が発注する業者においても、可能な限り飛騨地域から選定されるよう配慮されている。

【今井政良議員】：地域公民館の有効活用について提案した竹原中学校の生徒へ

竹原中学校の子どもたちの成長を感じた。また、下呂市の教育の目指す4つの柱のひとつ「地域と力を合わせて創る下呂学（ふるさと教育）の推進」の成果を示す提案である。

市制20周年記念式典の折に「小学生のあこがれは私たち中学生」という宣言をしてくれた中学生。小学生に影響を与えるだけではなく、私たち大人への影響も大きい。下呂市の子の良さを感じるとともに、子どもを真ん中に置き、地域全てで子どもを育てる下呂市の良さを誇りに思っている。

昨年の子ども服のリサイクル活動も「市長と語る会」後に子ども自らが行動して生まれたもの。ルールを引くだけではなく、子どもたちとともに動きを創っている。

2. 萩原小学校「令和の学び等開発実践校」公表会

11月28日に萩原小学校において、下呂市教育委員会指定「令和の学び等開発実践校」の公表会がありました。教科担任制やチーム担任制というダイナミックな組織体制の改革が、一人一人の先生の良さを発揮させたり、役割の中で生かされたりしており、学級間格差を減少することにつながっていました。また、教職員が同じ方向を向いて進める体制につながっているという感想もいただいています。

す。下呂市の教育に一石を投じてくれたと感じております。

教育長 教育長報告について、ご質問、ご意見はありませんか。

(質疑等なし)

教育長 続きまして、事務局報告をお願いします。

事務局長 事務局からは、2件報告させていただきます。

1. 上原小学校の花餅飾りについて

12月9日に上原小学校を代表して6年生5名から、下呂市長に花餅飾りが届けられました。上原小学校からは、毎年花餅飾りを届けていただいております。今年も大勢の皆様に見ただけのような市役所下呂庁舎のロビーに展示しています。子どもたちは、総合学習「おいしい上原のお米作りを未来につなげよう」で地域の方と育て・収穫したもち米を使い、全校のPTA行事で保護者とともに餅つき体験や花餅づくりなどを行いました。花餅飾りをお世話になった場所などに届ける活動として、上原子育て保育ステーション、上原デイサービスセンター、郵便局にも届けられています。

2. 書籍の寄付について

8月18日に下呂市市制20周年記念事業として、下呂青年会議所主催、下呂市と下呂市教育委員会の後援で開催された「植松 努氏のロケット教室と講演会」は大変好評で、多くの市民の方に感銘を与える内容となりました。これを受けて、下呂青年会議所から植松努氏の著書を5冊セットにして、小中学校15校をはじめとした市の施設25か所へ合計125冊のご寄贈をいただきました。12月10日に市長室で、下呂青年会議所の中川理事長へ感謝状を贈呈しました。

教育長 事務局報告について、ご質問、ご意見はありませんか。

(質疑等なし)

教育長 教育長報告及び事務局報告は、以上で終わらせていただきます。

教育長 続きまして日程第5、議第19号 就学援助申請に係る審査について、事務局の説明を求めます。

(教育総務課長 説明)

教育長 ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。

教育長 小学校1年生については新規申請と思うが、中学校1年生は全て継続か、新規申請もありますか。

教育総務課長 中学校1年生の継続と新規については、後ほど確認して報告いたします。

教育長 日程第5、議第19号について、承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

教育長 全員挙手、承認いたします。

教育長 続きまして日程第6 議第20号 下呂市育英資金給貸与に関する規則の一部を改正する規則について、事務局の説明を求めます。

(学校教育課長 説明)

教育長 ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。

河尻委員 第2条(2)から分かれて(4)に「海外研修を希望する者」を新たに設けるにあたり、改正前の「学業成績が優秀な者」の条件は付かないということでしょうか。

教育総務課長 第4条に申請の際に学校からの推薦書を添付するとしております。そちらで確認をさせていただくということで、外させていただきます。

河尻委員 海外研修というのは、ケチカン市ペンサコーラ市への中学生派遣以外に独自

で海外研修に行くときも対象になりますか。

教育総務課長 そういった場合も対象になりますが、今のところそういった事例がないという現状です。

教育長 日程第6、議第20号について、承認される方は挙手願います。
(全員挙手)

教育長 全員挙手、承認といたします。

教育長 日程第7、協議、報告事項になります。

教育長 それでは、各課の業務報告をお願いします。

(教育総務課長 説明)

(学校教育課長 説明)

(文化財課長 説明)

(地域振興課長補佐 説明)

教育長 本日開催の「中学生と市長と語る会」の様子を話してください。

教育総務課長 午前中に小坂中学校と午後に萩原南中学校において、市からは市長、教育長、教育委員会事務局長、学校教育課長、小坂振興事務所長、私が参加し、中学生からの地域についての思いや色々な提案をそれぞれのグループ毎に発表していただきました。地元の良いところについてのPRや、子どもたちから地域をよくするための提案の中で、自分たちで必要経費なども調べたうえで市への依頼事項もありました。私からは市の厳しい財政事情から、全ての提案を実現できるとは限りませんよということ、将来の職業選択のために今しっかりと勉強してくださいとお話しました。

それぞれのグループで、市長や教育長も色々な提案を受けていることと思います。

教育長 中学生と市長と語る会は、今後1月に下呂中学校が行い、一応これで終わりとなります。実は、先日の議会の中で市長ではなく議員さんと語る会が竹原中学校で行われまして、そこで得た提言を議会にぶつけていただいたということがありました。先ほどの私への竹原中学校の生徒へという一般質問がそこから発生しております。子どもたちは色々考えています。まだまだ深さはありませんが、下呂市のために考える、下呂学が進んできたなと思っております。

細江委員 ふるさと歴史記念館の企画展について、チラシにある半鐘はどういう使い方がされるのでしょうか。

文化財課長 授業の始業終業時の合図であったり、何かのタイミングで使われたものです。

細江委員 昔、火の見櫓の上で消防の半鐘を鳴らしましたが、それほど大きな音ではないのですね。

文化財課長 是非、記念館で実際に鳴らしていただければと思いますが、大きな音がします。時代劇で鳴らすようなカーンカーンカーンと大きな音が館内に鳴り響きますので、スタッフが毎回ビックリしているような状況です。

細江委員 鳴らしていいのですね。

文化財課長 はい、専用の台に半鐘を引っ掛けて木槌と一緒に置いています。振鈴も置いてありますので、そちらも鳴らして下さって結構です。こういったことを皆さんで楽しんでいただく企画ですので、是非とも体験いただきたいと思います。

細江委員 半鐘を使用していたのは、明治時代ですか。

文化財課長 西土田の学校が創設された明治期と思います。

(第10回教育委員会において、以下に訂正)

これが西上田の学校へ寄付されたのは昭和初期だそうですので、それ以降になると思います。この校舎は数年前までは現存し丸満産業という会社が使用していましたが、現在は更地になっています。そこを解体する際に貴重なものがあるということで、市へ寄贈していただき今回の展示につながっています。

教育長　びっくりしたのは明治時代に学制が發布されて、1～2年後に益田地域は30以上の学校がもう出来ているという事実がある。そういったことも書いてありますので、是非ご覧いただければと思います。

竹田委員　半鐘を鳴らしたのは、誰でしょうか。

文化財課長　学校の職員と聞いております。

三木委員　告知用のチラシのほかに、別途パンフレットのようなものはありますか。

文化財課長　チラシのみを学芸員が手作りしています。印刷業者を使わず自分で作り上げて事務所のコピー機で印刷し、観光案内所や商工会などへお配りしているところでございます。

三木委員　図録みたいなものは作らないとは思いますが、歴史博物館であるような両面刷りで詳細なパンフレットのようなものがあると、帰ってから参照できていいと思います。企画展の都度パンフレットを作るのは作業量も増えて大変でしょうが、両面印刷で作ってもらえると嬉しいです。

文化財課長　大変貴重なご意見ありがとうございます。今後の企画展のPRの参考にさせていただきますと思います。

教育長　その他について説明をお願いします。

（学校教育課長、教育総務課長　令和7年度タブレット端末の更新について説明）

教育長　ただいまの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。

細江委員　今使っているタブレット端末との大きな違いはどんなところでしょうか。

学校教育課長　今使っているタブレット端末はWindows系のものになります。次回更新予定のiPadはアップル社のOSであるところが違います。ただし、そこに入れるアプリケーションはメタモジというものを使っていますが、来年度以降もメタモジを入れる予定にしておりますので、子どもたちの使い方はそんなに変わらないと思っております。

細江委員　使いやすくなるということではないのでしょうか。

学校教育課長　中身としては、メタモジそのものの使いやすさは変わりません。ただ、それを持ち運んだり、カメラを使ったり、色々な使い勝手は格段に良くなると思います。落としても破損しにくいです。

細江委員　ツールが増えるということではないのですか。

学校教育課長　そういうことはありません。

教育長　先生方の話では学校の外へ持ちだしたりする時にiPadの方がいいということで決めたということよろしいですね。

学校教育課長　そうです。

三木委員　今回は購入ですか、レンタルですか。今使っている端末はどうでしたか。

教育総務課長　令和2年度に1,521台を購入で、令和3年度は800台をリースで2カ年に分けて導入致しました。今回はWindows10のサポート終了に合わせて、一括で2,222台をリースの予定です。

三木委員　現状のものについては、廃棄ですか。PTAがケースを助成していますが、インチ数にもよるでしょうが、合わせてケースも廃棄となりますか。

教育長　廃棄はもったいないし、費用もかかります。まだ正確ではありませんが、防災

関係で独居老人の世帯などに貸し出す方法がないかなど、廃棄でなく何とか活用できるような方法を考えています。

三木委員 かなりの数ですし、子どもたちも一生懸命使っています。再利用の方向も伺いちょっと安心しました。

小口委員 ふるさと歴史記念館の認知度はどうなのでしょう。先日近くを通った時に表示を見たのですが、皆さんはご存じですか。

文化財課長 市議会議員からも表示が見にくいというご意見をいただきました。最近、場所のお尋ねをよく聞くので、以前より行ってみようと思われる方が増えてきたのではないかと考えています。ただ、看板が見にくいのは恥ずかしいことですので、当面は手作りでも見やすい看板を設置して、来客の増加を目指したいと思います。

教育長 ふるさと歴史記念館は教育委員会の管轄施設になります。先日の議会委員会の中で、色んな方々を入れてワークショップのようなことをやったり、来年1年間をかけてうまく使う方法を考えながら、ある程度の方向を作りますと答弁をしたので、頑張っていきたいと思っております。

小口委員 せっかくの施設ですので、分かりやすくしてもらって、皆で楽しんでもらえるようになると思います。

教育長 その他ありましたら、説明をお願いします。

(文化財課長 オオサンショウウオ交雑問題への取り組みについて説明)

教育長 オオサンショウウオは教育委員会の管轄になりますので、ご相談することになると思います。よろしくお願いします。交雑種は食べても良かったですね。

文化財課長 交雑個体は基本的に殺処分ということになっています。市教育委員会事務局の考えとしては、なるべく殺処分を行わず研究機関への譲渡を行っています。ただ、殺処分可能ということは食べてもいいということかと思います。地域の方から聞いたのですが、お菓子屋さんがオオサンショウウオを模った落雁を今作っているということでした。来月には試作品が出来上がるということですので、今後どう販売していくかなど協議していきたいと思っています。

教育長 その他よろしいでしょうか。

(質問等なし)

教育長 次回の教育委員会を1月31日に開催することとし、これをもちまして第9回下呂市教育委員会を閉会いたします。